



2023年7月号

FUNs通信

就労移行支援事業所FUNs

第32号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-6 淵野辺サトウビル2階
Tel:042-813-0809 Fax:042-813-3231 Email: info@funs2020.co.jp

福祉の話題でなくてすみません・・・

私が理事を務めている「日本ピックルボール協会」で、全国大会を開催します。今年度は、国内大会を4つと国際大会の予選会を1つ実施することになっています。その中で4つの大会は私がディレクターを務めます。

私自身もプレイヤーなので、試合に出たいなという気持ちがかかりあります。が、公平性を重視しなければいけないと思うとしょうがないなと自分に言い聞かせています。今年は、浅草・小田原・京都・つくばで実施しますので興味のある方は、是非見学・応援においでください。

一つの大会を企画するまでに、様々なやり取りがあります。協会の理事・役員は全国各地に散らばっているので、「Zoom」「LINE」「LINE WORKS」「メール」と様々な媒体で日々打ち合わせを行っています。各種媒体の信用性や利便性なども考えながら、使用している媒体を変えているのですがかなり混乱状態です。

いろいろな媒体を使用して同時進行していくというのは、マルチタスク能力が必要ですね。私自身、そんなに苦手ではないと思いましたが、キャパシティを超えてくるともうだめです。

マルチタスクをどうにかするために必要なのは①やることリスト②タスクの優先順位③タスクのグループ化④気が散る環境を改善⑤進捗の管理⑥仕事の割り振り などがあります。

自分の立場というものもあるでしょうから、上記6項目の中で出来ること出来ないことはあるかと思えます。が比較的①、②は挑戦して訓練することはできるような気がします。脳内処理が追い付かないからいっぱいいっぱいになっているとすれば、紙に（PCなどに）書き出す等が効果的です。書き出せばなんとなく順位が見えてくると思えます。すぐに取り掛かれることを優先するのか、締め切りで順位を決めるのか。私は、取り掛かれることから始めてエンジンをかけることを優先するタイプです。

マルチタスクが苦手な方に一言。「上手になるために、取り組めることはある」です。苦手なことは取り掛かるにも力が必要です。簡単そうなことから始めてみてもいいかもしれません。

浅草大会まで、あと1週間。ちょっと眠れない日が続きそうです・・・
(紙谷)

7月のスケジュール

7月 行事予定

7月19日 FUNsフェス

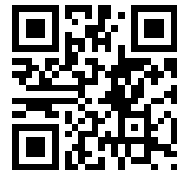
外部活動記事2本！私たちはこれで成長しています！

「共にここからけやきロック2023」に参加してきました。相模原市立あじさい会館大ホール（300人規模）がほぼ満席。すごい賑わいでした(#^^#)

演目は、バンドや楽器の演奏・相模原芸人のコント、超絶技巧のけん玉披露、出し物の発表とバラエティーに富んでいました。気づいたら見入っている私がいいて、一番楽しい思いをしたのが私という自覚があります(笑)

300名規模の観客の前で何かをする。私にはできないかもです(笑) あがり症なもので・・・でもそれに向けて計画・練習を重ね完成度を上げていたのを思うと頭が下がる思いです。そして、この規模で更に高いクオリティのイベントを開催する“けやきの会”様は流石だなと思います。

このイベントは毎年開催されています。興味がある方は、是非来年足を運んでみてはいかがでしょうか。私もきつといます(笑) (山岸)



FUNsに入社して、もうすぐ丸2年。同期と一緒に『新任進路担当・就労支援対象セミナー』に参加しました。HWの方からとても貴重なお話を伺えました。ご紹介いたします。

まずは「私達と同じような目線で求職者をサポートしている」ということ。ハローワークでそこまでやるの？と思うことも、必要であれば行うそうです。もう一つは、「支援機関の声がとても大事」な理由です。ハローワークではあくまでも相談者の表面しか見ることが出来ないため、ふだんから接している支援員の声が頼りだそうです。個人の特性や得意不得意、必要な工夫を細かく把握してこそ、その方に見合った求人を紹介でき安定した就職に繋がる。本当にそうだと思います。

3年目。「利用者様の希望や理想を叶えるお手伝いをしたい」という福祉の理念を共通に掲げて、ハローワークや関係機関と連携して更に良い支援を目指していきます。(田中)

プログラム紹介～『働く』とは～

プログラムストック数ではギネス級にあるFUNsですが、「働くとは？」プログラムが一番実施しています。ご利用者様もFUNsスタッフも「またあるの!？」と感じているかもしれません。でもこれは続けます。私の就労支援員としての「気持ち」があるからです。

FUNsのプログラムストックは、一日平均8プログラムをやっているので爆発的に増えています。そこから自分が必要と思うものを自己選択していただくチャンスです。

残念ながら「好き」＝「必要なもの」だけではないのが現状です。苦手な分野をマスターしてほしいという気持ちは私にもありませんが、避けなくて通ってほしいと思っています。苦手と向き合うことだけでも得られるものが絶対あると思っています。「働くとは？」はとても固く、面白いプログラムではありません。しかも1時間20分もあります。長いです。終わった後の皆さんの表情も「辛そう」です。

でもこれは、「就職への道」「就職してからの道」の道標になると信じています。(須永)

勤怠を整えることを大事にする

勤怠を整えることは、働く上で最重要課題だと思います。

就労移行利用開始時は、生活リズムが変わるタイミングでもあるので体調や情緒を鑑みて週2回や3回から通所していただくこともあります。

「徐々に増やしていきましょう」と伝えていますが、就労を目指していくには毎日の通所になってもらいたいというのが、本音です(ご利用者様にも、しっかり伝えていきます)通所が安定するようにFUNsとして心掛けていることは「行きたい」と思える場所にすること。励ましあえる仲間がいて、話ができる職員がいて、興味があるプログラムがある。ご自身にとってプラスになるものを用意しようと思っています。

あと、日々の様子確認です。何らかの要因で出勤できないのであれば“すぐに”原因を相談し、それに応じて通所する意味や意義を常に伝えていきます。これも私たちはとても大事だと思っています。(羽藤)

利用者リレーコラム～癖のあるスタッフ(笑)～

今年の4月に入所しました。正確には、その前に10数回実習に通ってきています。FUNsの特徴はスタッフです。比較対象はありませんが、味があるというか。例えばHさんはオタクと言われる分野に強く、Kさんは面白い話は無いか?と振ってきます。入所を希望している人にプレゼンをするなら、スタッフの存在です。

就労移行支援の側面としては、プログラムの幅の広さに目を見張ります。そしてスモールステップしている感覚がものすごく楽しい。『FUNsの掟』なるものに、無理をしないというものがあります。私自身全く無理していないわけではないけれど、段階を踏めるという点で、この掟に助けられている人は多いと思います。これからも体調と担当と相談しつつ頑張ります。(PN。冷凍ピザ)

Fuchinobe Unique Navigations Info

脳トレの時間は、訓練です。トレーニングだもの。

毎朝、「脳トレ」プログラムがあります。専らカードゲームです。プログラムですから、お遊びと時間つぶしではありません。目的は①脳に刺激を与えること。一番活動的な午前中を有意義に過ごすためのツールです。②SSTで学んだ実践であること。このかしこまらない時間で発揮できた力をSSTに持っていくこともありますし、勝敗のたびに起きうるアンガーマネジメント力を試す場でもあると思います。③観察力を高める。



こんなに人のことを観察して怒られない時間はあるのでしょうか。人のことを考えるという意味でも非常に意味のある時間です。④人に関心を持つ。コミュニケーションは関心を持つことから始まります。

単なるゲームでしょ!?と思った方、FUNsの脳トレ見たらウロコが落ちると思います。意識せずともこれだけの訓練を毎日しているのですから。(田中)



考えを形に。形を物に。物を対価に。経験を自己肯定感に。

ものづくりプログラムの時間で完成した作品を見させていただくと、ご利用者様の腕がどんどん上がっています。

様々なイベントに参加させていただいていますが、「一つ一つが丁寧」「本当に素敵」「アイデアが詰まっている」というお声を掛けていただくことがあります。私たちも惜しみなくご利用者様に伝えてますが、すごく喜んでくださっています。誰かに手にとってもらえること、見てもらえることが心にのこり、自分の存在を認められてもらえる感覚の体験が自己肯定感upになっていくと思います。

一つの作品が出来上がるまでに、アイデア力・企画力・発信力・アピール力を出していかないとはいけません。たくさんの学び・喜びの機会となること信じ、インターネット販売を行います!(現在企画中)(井川)

編集後記

ご利用者様には面と向かって褒めることを良くします。ここぞとばかりに褒めまくるのが私のスタイルです。しかし、対スタッフにはそこまで褒めてないかなと反省中です。でもスタッフはみんな頑張っています。ここのスペースで褒めたいと思います。

誰か、私のことも褒めてくれないかな(笑)(紙谷)